

令和6年度 事後評価シート

施策	5結婚から妊娠、出産、子育てに至るまでの切れ目のない支援の充実
K G I	①出生数【基準値】8,011人（令和3年）【目標値】8,500人 ②婚姻件数【基準値】4,571件（令和3年）【目標値】5,500件

【細施策シート】

策シート】

細 施 策		05_03a	安心して子育てができる環境づくり					担当部局		保健福祉部	
			施策KGI							①	
K G I	県の子育て支援に関し、満足している県民の割合(アンケート)										
	KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度	目標値	70 %	目標値	70 %	目標値	80 %	目標値	80 %	
	基準値	28.9 %	実績値	28.9 %	実績値	35 %	実績値	%	実績値	%	
			達成率	41.29 %	達成率	50 %	達成率	%	達成率	%	
	ストック/フロー	フロー	成果進捗評価	不調	成果進捗評価	不調	成果進捗評価		成果進捗評価		
6 年 度	要因分析 【必須】	官民協働による紙おむつの購入支援、子どもの愛顔応援ファンドを活用した子育て支援等に加え、令和５年度に県・市町連携により創設した「えひめ人口減少対策総合交付金」を活用して地域の実情に応じた市町の取組みを後押しするなど結婚から出産、子育てに至る切れ目ない支援の充実を図り、KPIである「県の子育て支援に関し満足している県民の割合」は若干増加したものの、長引く物価高騰などを背景とした家計等の経済状況など子育てに関する負担感の軽減に至っていないと考えられる。 また、県内の男性の育児休業取得率は低調（男性28.5%、女性87.1%：R5）なことや、男性の就業時間は女性よりも長いことから、理想のこどもの数が持てない最も大きな要因である子育てや教育に要する経済的負担（令和３年全国調査）の軽減に加え、子育てと仕事の両立ができるよう教育・保育サービスの充実や子育てしやすい職場環境づくり、男女が共に家事・育児に積極的に関わる環境づくりに引き続き取り組む必要がある。									
	見直し方向性 【必須】	理想のこどもの数が持てない最も大きな要因である子育てや教育に要する経済的負担（令和３年全国調査）や、家事・育児負担の軽減、子育て支援サービスの充実を図るため、令和５年度に県・市町連携により創設した愛媛オリジナルの取組みである「えひめ人口減少対策総合交付金」を活用して地域の実情に応じた市町の取組みをより一層後押しするなど、結婚から出産、子育てに至る切れ目ない支援の充実を図る。									